

ファビオ・ボッタッツォ (ギター)

ファビオ・ボッタッツォはジャズ・ギタリスト、コンポーザー、彼の音楽はポストビバップ、アコースティックとモダンジャズの中に位置する。演奏は、繊細で空間を大切にすると評され、彼自身の個性あるフレージングを持っていることがわかる。

ファビオ・ボッタッツォは、1971年、イタリアのパドヴァで生まれた。16歳の時ギターを手にして、すぐに80年代のロックに影響を受ける。1993年から96年まで、イタロ・デ・アンジェリスにジャズギターとハーモニーを師事。その後、1996年に、ウンブリア・ジャズで開かれたバークリー音楽院のサマースクールに通う。2002年ローマの“UM”音楽学校でディプロマを取得。パット・メセニー、ウォルフガング・ムースピール、スコット・ヘンダーソン、マイケル・マンリングなどのセミナーに参加。チャーリー・バナコスにも師事。2004年から日本に滞在。

ブルーノ・マルコッツィ、アマンダ・ティッフィン、セバスティアン・カプテイン、森泰人、岡部洋一、オーベ・インゲマールソンなどと共演。

2010年には森泰人、セバスティアン・カプテインとともに自身のオリジナル曲が中心の「It's no Coincidence」を発表、このアルバムは「ジャズ批評」誌で「My Best Jazz Album 2010」の14位に選ばれた。2014年、南アフリカ、オランダ、日本による国際的ジャズユニットa.s.k.のアルバム「Welcoming the Day」に参加。2018年、カルテット#11のアルバム「Sharp Eleven」を発表。2021年に発表したJOSENとのギターデュオRich & Ricci (リッチ・アンド・リッチ)の「What we Like」は、日本に来て自身4枚目のCDとなる。

新潟の美しい風景を取り入れた演奏動画を公開している。

Official site: www.fabiobottazzo.com

YouTube www.youtube.com/@fabiobottazzo9626